

## 秋田県鹿角市ー「起業家の抱持ちで地域の魅力発見！」ー

- プログラム概要** : 鹿角市にてUターンの経営者にインタビュー調査を行い、地方で事業を起こすために必要な視点や考え方、知識を学ぶ。  
**実習先** : 秋田県鹿角市  
**実習先情報** : 秋田県鹿角市を拠点とする企業や農園など(5団体)  
**参加人数** : 9名  
**学部学科** : 日本文学文化学科、人間科学科、経営学科、数理工学科、環境システム学科、サステナビリティ学科  
**実習期間** : 令和6年9月2日～9月11日  
**本学担当教員** : 姜 雪潔(経営学科)

### ○はじめに

秋田県鹿角市では、市が有する豊かな資源や充実した移住・起業サポートを背景に、多くのUターン者が事業を起こし、自ら雇用の場を作り出している。本プログラムでは、Uターンの経営者にインタビュー調査を行い、地方で事業を起こすために必要な視点や考え方、知識を学んだ。滞在中に、現地企業・団体でプロジェクト型インターンシップを実施するなど、現地の方々とは多様な交流活動を行った。

#### ・ご協力いただいた団体

昨年度継続: 燻製屋 猫松、綱木農園

今年度新規: 浅利佐助商店、Yuzaka、Minpaku AMBO



### ○実習内容

#### ◆事前学修

・鹿角関連の基礎知識習得(6/8(土)～8/31(土)の間に5日間実施)

#### ◆学外学修

- ・DAY1. 移動、まちなかオフィスでのオリエンテーション・市内見学
- ・DAY2. 鹿角市からの講義(産業活力課)  
プロジェクト型インターンシップにご協力いただく企業・団体経営者ヒアリング  
Minpaku AMBO、浅利佐助商店
- ・DAY3, プロジェクト型インターンシップにご協力いただく企業・団体経営者ヒアリング  
綱木農園、燻製屋 猫松、Yuzaka
- ・DAY4. 5. 6. 各企業・団体に分かれてプロジェクト型インターンシップ実施
- ・DAY7. 市内視察  
尾去沢鉱山、道の駅かづの、大湯環状列石、道の駅おおゆ
- ・DAY8. 成果発表会準備(まちなかオフィス)
- ・DAY9. 市民公開型成果発表会(まちなかオフィス)
- ・DAY10. 振り返り、現地解散

#### ◆事後学修

・活動ワークブック、成果報告書作成(9/14(土))



### ○提案したこと

◆各受入企業・団体ごとに提案をまとめて発表し、講評をいただく。

#### ①綱木農園

・庭で創る、私だけの体験。～農泊で遊ぶという選択肢を～

#### ②浅利佐助商店

・特別な体験を「福寿祭り」～鹿角を代表する地域密着型の企業～

#### ③Minpaku AMBO

・山々に囲まれた土地から生まれる自然と文化 ～Minpaku AMBOから伝える鹿角の魅力

#### ④ 燻製屋猫松

・「美味しさは正義」～SNSを活用したマーケティング戦略とは～

#### ⑤ Yuzaka

・若者から見た大湯の可能性とは?! ～サステナビリティを高める新規事業～

#### ○ 経験したこと、学んだこと

・綱木さんは全てのことに考えを持って取り組まれている方で、多くの為になるお話を伺った。農泊に関しては、誰でも来れば良いというわけではなく、しっかりと取り組める人に来て欲しいという話であった。また採用については、ただ人を集めるわけではなく、良き雰囲気職場になるようにしないとイケない。私自身、綱木農園について良い雰囲気職場であると感じていたが、それは決して当たり前のことではなく、苦勞と努力の賜物なのであると知った(綱木班)。

・工場見学をして学んだことは、味噌はかつて高級品であったということ。また、味噌、味噌の製造会社の多くは、原材料は他から買っているということは驚きであった。福寿祭りについては、前回良かった点、課題点をそれぞれヒアリングし、ここでしか味わえない体験、地域振興と、より地域の方に満足していただける点を考慮し提案をまとめた。(浅利佐助商店班)

・鹿角のPR動画作成にあたり、鹿角市には様々な魅力的な場所、料理、人がいることを知ってもらいたいと考えた。例えば「あんたらあ」で行われた旬食フェスタでは、鹿角市の人々の食に対する意識の高さを感じた。また鹿角市民俗資料館と旧関善酒店では鹿角の歴史を余すことなく知ることが出来る一方、少し場所を持て余している印象を受けた。お互いの差別化と現代の鹿角の魅力を発信する場所としての工夫があれば、さらに発展することができるのではないかと考えた。(AMBO班)

・3日間で考案したアイデアの大半は成果発表として採用せず没にした。また、発表会当日までにも多くのアイデアを考えたが、こちらも没になったものがほとんどだ。今回は、事業を実現可能な状態にまで内容を詰めてはいないが、新しい事業を考える最初の一步の大変さを少しだけ知れたような気がする。特に、事業を展開する地域やターゲットを見るだけでなく、自身のやりたいことや好きな事がアイデアに強く影響したことが学びとなった。(Yuzaka班)

・猫松さんがどうして事業を続けたいのかをお伺いしたときに、「鹿角の地域活性化のため」という強い思いを知り、感銘を受けました。道の駅「あんたらあ」にいたら、その思いが鹿角市の人にも届いているように感じ、とても素敵なお話だと思いました。もちろん、売り上げのためにもっともっと販売チャネルを拡大し、鹿角だけの販売に留まるわけにはいかないけれど、事業の根本には「鹿角をもっともっと多くの人に知ってもらいたい、鹿角の魅力を伝えたい」という経営者の「鹿角」を思う気持ちがあるのだと学ぶことができました。(燻製屋 猫松班)

#### ○ 今後の展開

・鹿角U25会議にて成果発表(2025/1/18(土))・・・場所: BIRTH LAB

#### ○ 担当教員コメント

今年度も風光明媚な鹿角の地で、地元の企業さんに温かく受け入れていただき、「百年企業を存続させてきた秘訣は何?」「SNSを活用した情報発信はどう差別化するの?」など、起業や経営に関連する貴重な知識をたくさん教えていただいた。動画編集や広告写真制作など、若い世代ならではの「できる仕事」が評価されたのも嬉しいこと。参加者同士は、学部学年を超えた交流だからこそ自分にはなかった考えに触れる機会となり、思い出深い学外学修となった。

